



平成 23 年 11 月 7 日

各 位

会 社 名 大日本スクリーン製造株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 橋本 正博
(コード番号 7735 東証・大証 第1部)
問 合 せ 先 執行役員 経営戦略担当
立山 雅博
TEL (075) 414-7192

中期3カ年経営計画の策定に関するお知らせ

大日本スクリーン製造株式会社（代表取締役社長：橋本正博）は、このたび 2014 年 3 月期を最終年度とする「中期 3 カ年経営計画 **NextStage70**」を策定しましたので、お知らせいたします。

I. はじめに

当社グループは、リーマン・ショック以降の急激な業績悪化に対処すべく、約 2 年間にわたり損益分岐点売上高の大幅な引き下げを目指した再建策に取り組み、前期に黒字転換を果たしました。しかしながら、前期の業績回復は半導体関連市場の予想以上の回復に支えられた面もあり、引き続き「安定した収益構造の確立」、「新規事業の創出」といった課題に取り組んでいく必要があると認識しております。

かかる状況のなか、当社グループは、新たな飛躍を目指し「中期 3 カ年経営計画 **NextStage70**」をスタートいたしました。「**NextStage70**」では、「質の経営へ」を指針に、『収益構造確立と新たな成長への基盤づくり』を目指します。

当社はこの中期 3 カ年経営計画の最終年度に会社設立 70 周年を迎えます。3 年後に目標を達成し、次なる新しいステージを迎えられるよう、グループの総力をあげて取り組んでまいります。

なお、「**NextStage70**」は 2011 年 4 月よりスタートしておりますが、本資料は、本年 3 月 11 日に発生しました東日本大震災による影響などを精査し、本日正式発表させていただくものです。

II. 基本方針

収益構造確立と新たな成長への基盤づくり

1. 安定した収益構造の確立
 - 価格競争力の強化
 - 高収益製品の強化と顧客価値創出型製品の育成
 - 外部環境の変化に応じた事業構造転換力の強化
2. 新たな成長へ
 - 新事業の展開へ開発投資を進め、新たな成長を目指す
 - グローバル化への基盤整備

III. 数値目標

「自己資本比率 50%以上、純有利子負債ゼロ」(2014年3月末)

- 「利益率の向上」および「資本効率の向上」を追求し、『自己資本比率』を高める

	2011年 3月末	2011年4月 ～2014年3月	2014年 3月末
自己資本比率	34.4%	<<3カ年合計>> 売上高 8,000 億円	50.0%以上
純有利子負債	156 億円	営業利益 700 億円 当期純利益 500 億円	0円以下

研究開発 : 470 億円
設備投資 : 350 億円
グループ人員計画 : 最大 5,000 人
(2011年3月末: 4,732 人、
増員は主に海外)

IV. 新たな成長への取り組み

既存事業のさらなる成長と新規事業の創出

- 既存事業において新技術による深耕と拡大による成長
 - 技術革新への対応に向け、SE 事業へ重点的開発投資
 - インクジェット技術のアプリケーション拡大
- 3年以内に新分野での事業化を目指し、積極的な開発投資
 - 新エネルギー分野 (塗布技術を活用したリチウムイオン電池製造装置)
 - プリンテッドエレクトロニクス分野 (印刷・塗布技術とエレクトロニクスとの融合)

グローバル化への基盤整備

- リスクマネジメントの徹底と強化
- 人事戦略 - グローバル人材の育成、人員適正化、人事制度改革
- 財務・会計戦略 - 資金のグローバルレベルでの効率化、IFRS 対応
- IT 戦略 - 情報システムの基盤整備とセキュリティの強化

V. 事業別取り組み

【SE 事業】

- 収益構造の改革（サプライチェーンマネジメントのさらなる充実）
- 品質力の向上（販売、製品、サービスのすべてにおける品質向上）
- 製品競争力の向上（次世代プロセスや高生産性など高付加価値製品の開発）

【FE 事業】

- 事業構造の変革による収益性改善
- 新規領域への展開

【MP 事業】

- POD 事業：製品ラインアップ充実、消耗品ビジネス拡大、販売チャネル強化
- CTP 事業：価格競争力の高い製品を投入し業界 No.1 を堅持
- PE 事業：アジア市場において露光装置、検査装置ビジネスを拡大

〔ご参考〕

《 過去の中期経営計画実績との比較 》

(単位：億円)

	Vision2003 (前々回中期計画) 04/3期～06/3期 実績	Vision2008 (前回中期計画) 07/3期～09/3期 実績	NextStage70 (今回中期計画) 12/3期～14/3期 計画
売上高	7,078	8,001	8,000
営業利益	534	406	700
営業利益率	7.6%	5.1%	8.8%
当期純利益	345	▲151	500
当期純利益率	4.9%	▲1.9%	6.3%
純有利子負債 ※	201	766	0円以下
自己資本比率 ※	46.8%	28.1%	50.0%以上

※各中期計画の最終年度末数値

本資料に関する注意事項：

本資料にて提供する将来の当社業績見通しは、直近で知り得る情報をもとに作成したものであります。しかしながら、世界経済やエレクトロニクス業界の技術変化、半導体・フラットパネルの市況など、当社を取り巻く事業環境は急速に変化いたします。つきましては、今後当社の業績見通しが本資料と異なる可能性もございますので、ご理解願います。

以上